

系所組別：台灣文學系

考試科目：外文文學文獻解讀（日文）

考試日期：0223，節次：4

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機

一、試將下列日文文獻譯成中文。(25%)

近代中国で消費文化の「モダニティ」を作り出す広告芸術として、「月份牌」というポスター広告があった。これは、十九世紀末期に石版印刷とオフセット印刷術の導入によって、絵の多色刷りや大量複製が可能になったことを背景に、西洋の資本主義勝者によって導入され、次第に中国の商店や企業でもお客を喜ばせる景品として普遍的に使われる商業用ポスターとなっていた。この種のポスターは、一九一〇年代の成長発展期を経て、二〇～三〇年代に隆盛を極め、四〇年代以降には衰退・消滅の運命を辿る。「東方のパリ」と称された上海は、中国最大の通商口として外国租界の中心地であり、「月份牌」ポスターが生まれ、発展を遂げた場所である。

（呉咏梅「アジア・モダニティ—1920-30年代の中国と日本のポスターに見る「新女性」のイメージ」『サブカルで読むセクシュアリティ』、青弓社、2010年）

二、試將下列日文文獻譯成中文。(25%)

四季折々の和菓子は見た目も美しく、その上品な甘さが魅力的です。日本を訪れた外国人にもぜひ味わってもらいたいものの一つです。

ところで「甘い」という下の感覚は人類共通ですが、言葉の捉え方は少し違うようです。

日本語では、「甘い」という言葉を人や物ごとにあてはめると、多くの場合ネガティブなニュアンスを含みます。

「彼は甘い人間だ」と言うと、思慮が足りない、締まりがない、といった意味になりますし、「生徒に甘い先生」と言うと、厳しさに欠けている、という意味になります。また、満足いかない状態を表して、「ねじが甘い」「ピントが甘い」などと使います。

これに対して英語の **sweet** は、人にあてはめるときわめてポジティブなニュアンスで伝わります。

She is sweet. と言えば、彼女が **kind**（優しい）、**gentle**（温和な）、**pleasant**（愛想良い）であるといった、とても良い意味になります。

また、水や空気に対して使うことも多く、**the sweet air of the mountain** と言えば、「山の心地良いすがすがしい空気」といった意味になります。

こうした言葉の違いの裏には、甘いものに対する価値観の差が少なからずあるようです。（江口裕之「甘いことは良いこと？悪いこと？」『トラッドジャパンのこころ』、日本放送出版協会、2010年）

(背面仍有題目，請繼續作答)

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機

三、翻譯以下日文文章

1. ウィトゲンシュタインは「われわれが中国人の話しているのを聞くと、その話を文節なき咽喉音と考えたくなる。しかし、中国語の分かる人なら、そこに言語を認知するであろう。このように、私はしばしば人間の裏に人間を認知することができない」と述べる。ここの盛られている問題意識は、①単なる咽喉音とも聞こえる音声が、何故意味のある「言語」でありうるのか、②ことばがわかるということはどういうことか、という、同根の二問に集約されるであろう。また、ここで「言語を認知する」ことがそのまま「人間を認知する」ことに等置されているのは、かれが言語の問題を単なる「言語哲学」上の問題を考えおらず、人間そのものの本質に関わる問題と考えていたことを示している。（出典：藤本隆志《ウィトゲンシュタイン》p. 182-183 から摘出）(25%)
2. ブルデューは、単に移動の統計や教育のインプットーアウトプット分析を使って不平等のパターンを説明するのではない。むしろ、彼の焦点は、それを通じて社会的不平等の搬送器としての文化的知識や文化的スタイルが作用する過程に置かれている。その分析の中心をなすのは『文化資本』のコンセプトであり、これによって、個人および集団によって生産され、分配され、消費される経済的財貨と類比されるような一般的文化背景、知識、性向、技巧などを分析することが可能となっている。「言語資本」、もっと広くは「文化資本」というかれらの概念が良く知られているが、これは、言語をたくみに操ったり、正統的な芸術への趣味をもっていたりする能力を、社会の成員個々人のレベルではなく、むしろ社会集団あるいは階級の総体としての有利—不利という面で捕らえようとしたものである。（宮島喬《文化的再生産の社会学》p. 37-38）(25%)